

2019 第48回サマーエンデュランス「BHオークション SMBC 鈴鹿10時間耐久レース」 ソプラノ歌手 西本真子さんによる国歌独唱が決定

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて、2019年8月23日(金)～25日(日)の期間に開催する『2019 第48回サマーエンデュランス「BHオークション SMBC 鈴鹿10時間耐久レース」』(略称:SUZUKA 10H)の決勝レース前セレモニーにおいて、ソプラノ歌手である西本真子さんによる国歌独唱が決定しましたので、ご案内いたします。

F1チャンピオンであるミカ・ハッキネン選手をはじめとした、さまざまなカテゴリーのチャンピオン経験者、SUPER GT GT300クラスの主役ドライバーたちに加え、GT500クラスで活躍するドライバー、ヨーロッパで活躍するメーカー直系のワークスドライバー & チームなどが集結し、“最強王者決定戦”の名のもとに熱いバトルを繰り広げます。『2019年 第48回サマーエンデュランス「BHオークション SMBC 鈴鹿10時間耐久レース」』は、8月25日(日)10:00から決勝がスタートいたします。前売観戦券は、MOBILITY STATION(オンラインショップ)での購入、ファミリーマートにて受取りで、8月24日(土)まで販売中です



<西本真子>

武蔵野音楽大学及び同大学大学院を首席で卒業・修了。

大学在学中より、福井直秋記念奨学金、NTTドコモ奨学金、静岡の名手たち、第17回練馬文化センター新人オーディション最優秀賞、第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学・一般の部第1位及びグランプリ、都築音楽賞、日本放送協会賞等、数多くの賞を受賞。これまでに「椿姫」ヴィオレッタ「ラ・ボエーム」ミミ「トゥーランドット」リュエ「トスカ」タイトルロール「イル・トロヴァトーレ」レオノーラ「カルメン」ミカエラ等、数多くのオペラにメインキャストとして出演し、情熱的な歌唱と美しい舞台姿で人気を博す。

2012年フィリピン国立劇場「蝶々夫人」タイトルロールにて国際デビュー、2013年シンガポールエスプラネードシアターでも同オペラに主演、2014年リゾートワールドモナにて「ベスト・オブ・オペラ」、2016年中国貴陽市交響楽団演奏会、2017年ウィーン楽友協会「国境なき合唱団10周年記念特別公演」等に招聘されソリストとして出演、各公演にて成功を収める。

2018年藤原歌劇団「ナヴァラの娘」(日本初演)主演にて同歌劇団にデビュー。

近年では、オーケストラとの共演や映画音楽の録音にも参加するなどして、益々活躍の場を広げている。藤原歌劇団団員。



※2018年鈴鹿10時間耐久レースの様子